

【第2回】石狩市総合戦略推進懇話会開催結果概要

令和4年10月27日

【日時】 令和4年10月18日（火）13:00～16:45

【場所】 現地視察：厚田マイクログリッドシステム、石狩湾新港発電所
意見交換：石狩市役所 4階 402会議室

【出席者】 11名（16名中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	角川 幸治	○	委員	林 美香子	○	委員	河野明美	○
副会長	竹口 尊	○	委員	高宮 則夫	○	委員	小山 玲子	×
委員	後藤 芳子	○	委員	林 俊樹	○	委員	白井 かの子	×
委員	野村 彩夏	×	委員	神林 周二	○	委員	秋田谷 順子	○
委員	新居 久美子	×	委員	中野 勝也	○			
委員	鈴木 圭一	○	委員	獅子内 彰	×			

※正副会長を除き名簿順

□オブザーバー 北海道石狩振興局地域創生部：阿部部長、片倉係長

□事務局 石狩市企画経済部：小鷹部長、宇野課長、幸田主査、本庄主任、部田主任

【傍聴者】 0名（非公開）

- 【次第】
1. 開会
 2. 報告（2件）
 3. フィールドワーク（市内現地視察）
 - ・厚田マイクログリッドシステム
 - ・石狩湾新港発電所
 4. 意見交換
 5. その他
 6. 閉会

＝＝＝＝＝ 内容要旨 ＝＝＝＝＝＝

1. 開会
2. 報告（2件）
 - ①第1回懇話会評価について
 - ・総合戦略推進本部会議を開催し、数値目標の達成状況、及び65項目のKPIの評価について、懇話会評価のとおり決定。
 - ・KPIの修正についても承認。

- ・懇話会意見については、今後の取り組みにあたって留意するよう、関係所管に伝えた。

②総合計画の期間延長について

- ・戦略目標の計画期間は本年度が最終年度となるが、現総合計画が見据える30年後のまちの姿に、現状大きな齟齬、ブレがないこと等から、計画期間を来年度から4年間延長することとし、作業を進めている。
- ・この4年間の延長期間は、来年改選を迎える市長任期と連動をはかる4年間であるとともに、まちの将来像を示す「総合計画」の策定に、時間をかけて取り組むこと、また、2年後に終期を迎える、「総合戦略」の改定も同時に、内容の整合性を図りながら進めていくためには、必要な期間と考えている。
- ・総合計画の期間延長にあたり、現在、まちの現状を示す数値等の、計画内容に影響しない数値データ等の時点修正作業を行っている。
- ・計画内容の変更はないが、基本構想部分（計画期間）の延長手続きとして、12月にパブリックコメント、令和5年第一回定例議会に上程する予定。

3. フィールドワーク（市内現地視察）

- ・厚田マイクログリッドシステム
- ・石狩湾新港発電所

4. 意見交換

(1) 厚田マイクログリッドシステムについて

- ・このような施設が石狩にあることを知った。
- ・マイクログリッドシステムは広報でも特集したことがあるが、まだ周知しきれていないと感じた。石狩市の自慢の施設だと思う。
- ・道の駅には来たことがあるが、マイクログリッドシステムのことは知らなかった。
- ・災害時のリスク分散がされていて良いことだと思う。もっと発信していきたい。

- ・マイクログリッドシステムは脱炭素の取り組みとしても重要なことを、実際に見て理解できた。
- ・温暖化対策への取組も、作って終わりではなく裾野が広がるよう頑張ってもらいたい。
- ・マイクログリッドシステムが道の駅にあるとは知らなかった。PRできるならもっとすると思う。
- ・マイクログリッドシステムは、脱炭素の意味でも、防災の部分でもよい取り組みだと思う。

(2) 石狩湾新港発電所について

- ・3年前と比べ北電発電所の設備がずいぶんと整ったと感じた。
- ・子供たちの見学にもいいと思った。(プロジェクションマッピング)
- ・私たちの生活を支えている巨大な社会インフラを見て、石狩湾新港の責任を感じた。今後もさらに石狩湾新港地域を発展させつつ、誘致にも力を入れることを期待している。
- ・色々な意味で石狩湾新港の役割は大きく、今後益々の発展を期待している。

(3) 全体を通して

- ・3年ぶりの開催で有意義な研修だった。
- ・胆振東部のこともあり、電気のありがたみを感じているが、施設を実際に見学することは有意義だと思う。石狩市は電力に関する意識が高いと感じるのでもっとPRしてもいいと思う。
- ・マイクログリッドシステムも石狩湾新港発電所もすばらしい設備だと思うが、一般の市民には届いていないのではないかと思う。もっと情報発信し、地域住民の意識が向くことで、市として機運を盛り上げてほしい。
- ・とても有意義な研修だった。
- ・総合戦略の懇話会でフィールドワークを開催しているのは石狩市だけなので楽しみにしていた。
- ・フィールドワークについて、皆さんに一定の評価をいただきうれしく思う。状況にもよるが、これからも定期的に続けていきたい。

(4) 総合計画の期間延長について

現、第5期総合計画の目指す30年後のまちの将来像は、策定時と変わっておらず、また、変化する社会情勢への対応については、現在進行中の総合戦略や、他の個別計画により、柔軟な対応がされていることは、KPIの評価を通じ認識している。

作業スケジュールなどを考慮すると、「総合計画」の4年間の期間延長は妥当だと考える。

2年後には、当懇話会の所掌する「総合戦略」の改定も控えており、総合戦略の策定も同時進行となるが、4年間で有効に使い、十分な検討と議論を重ね、是非、希望あふれる石狩市の未来像を描いていただきたい。

以上、懇話会の意見とする。

5. その他

(事務局から)

本日の懇話会については、議事録ではなく、結果概要という形で、視察や意見交換の概要を記載した書面を作成し、会長の確認を得、委員へ送付する。

6. 閉会